

auAMレバレッジNifty50 インド株ファンド

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|---|------------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型） | |
| 信託期間 | 無期限 | |
| 運用方針 | auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、Nifty50指数先物（米ドル建て）の日々の値動きの2倍程度となることを目指して運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | ベビーファンド | auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンドの受益証券 |
| | auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド | 株価指数先物取引、外国為替予約取引、指数連動有価証券、内外の短期国債 |
| 組入制限 | ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率 | 無制限 |
| | マザーファンドの株式組入上限比率 | 無制限 |
| 分配方針 | <ul style="list-style-type: none">・分配対象額は、経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額を含みます。）および売買益（評価益を含みます。ただし、マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額を除きます。）等の全額とします。・原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 | |

運用報告書（全体版）

第1期

（決算日 2025年5月30日）

（作成対象期間 2024年5月31日～2025年5月30日）

受益者の皆様へ

平素より格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、Nifty50指数先物（米ドル建て）の日々の値動きの2倍程度となることを目指しております。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

auアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区西神田三丁目2番1号



ホームページ

<https://www.kddi-am.com/>



お問い合わせ先 03-5657-7185

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

■設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | Nifty50指数先物 (米ドル建て) | | 株式先物 比率 | 公社債 組入比率 | 純資産 総額 |
|----------------|--------|------------|-----------|------------------------|-----------|------------|-------------|-----------|
| | (分配落) | 税引前 分配金 | 期中 騰落率 | (参考指数) | 期中 騰落率 | | | |
| (設定日) | 円 | 円 | % | | | % | % | 百万円 |
| 2024年5月31日 | 10,000 | — | — | 10,000 | — | — | — | 89 |
| 1期(2025年5月30日) | 10,141 | 0 | 1.4 | 10,292 | 2.9 | 198.2 | 27.4 | 2,552 |

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。また、期中騰落率は、期末の基準価額(税引前分配金含む)を設定日の基準価額で除して算出したものです。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

(注3) Nifty50指数先物(米ドル建て)は、Nifty50指数先物(米ドル建て)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000としてauアセットマネジメントが計算したものです。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

(注7) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式先物比率」、「公社債組入比率」は、実質組入比率を記載しております。

■当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | Nifty50指数先物 (米ドル建て) | | 株式先物 比 率 | 公 社 債 組入比率 |
|-----------------|---------|-------|---------------------|------------|-------------|---------------|
| | | 騰落率 | (参考指数) | 期 中 騰落率 | | |
| (設定日)2024年5月31日 | 円 | % | | | % | % |
| | 10,000 | — | 10,000 | — | — | — |
| 5月末 | 10,000 | 0.0 | 10,000 | 0.0 | — | — |
| 6月末 | 11,165 | 11.7 | 10,603 | 6.0 | 207.3 | — |
| 7月末 | 11,744 | 17.4 | 10,848 | 8.5 | 205.5 | — |
| 8月末 | 11,940 | 19.4 | 10,936 | 9.4 | 203.4 | — |
| 9月末 | 12,770 | 27.7 | 11,328 | 13.3 | 208.1 | — |
| 10月末 | 10,881 | 8.8 | 10,470 | 4.7 | 203.0 | 32.4 |
| 11月末 | 10,381 | 3.8 | 10,306 | 3.1 | 201.5 | 30.5 |
| 12月末 | 10,069 | 0.7 | 10,143 | 1.4 | 201.5 | 31.5 |
| 2025年1月末 | 9,491 | △ 5.1 | 9,879 | △ 1.2 | 198.3 | 34.3 |
| 2月末 | 8,740 | △12.6 | 9,444 | △ 5.6 | 201.5 | 35.0 |
| 3月末 | 9,371 | △ 6.3 | 9,782 | △ 2.2 | 199.2 | 29.8 |
| 4月末 | 9,850 | △ 1.5 | 10,097 | 1.0 | 196.0 | 27.4 |
| (期 末)2025年5月30日 | 10,141 | 1.4 | 10,292 | 2.9 | 198.2 | 27.4 |

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

(注2) Nifty50指数先物 (米ドル建て) は、Nifty50指数先物 (米ドル建て) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000としてauアセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

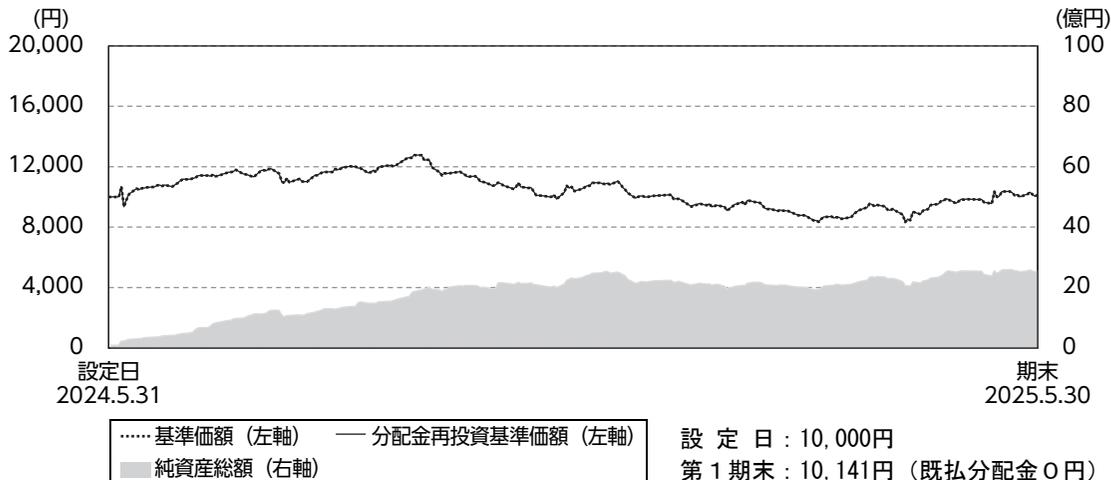
(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注6) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式先物比率」、「公社債組入比率」は、実質組入比率を記載しております。

当ファンドは、NSE INDICES LIMITEDが発起、保証、販売または販売促進を行っているものではありません。NSE INDICES LIMITEDは、当ファンドの所有者または一般のいかなる人に対しても、有価証券全般または当ファンドへの投資の妥当性、あるいはNifty50指数のインド株市場全体のパフォーマンスへの連動性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証を行いません。NSE INDICES LIMITEDとauアセットマネジメント株式会社との関係は、NSE INDICES LIMITEDが、auアセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に決定、構築および算出を行う指数と指数に関連する商標および商号についての使用を許諾することだけでしかありません。NSE INDICES LIMITED は、Nifty50指数の決定、構築および計算に関して、auアセットマネジメント株式会社または当ファンドの所有者の要望を考慮する義務を負いません。NSE INDICES LIMITED は、当ファンドの設定に関してその時期、価格もしくは数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与もしていません。NSE INDICES LIMITEDは、当ファンドの管理、販売または取引に関していかなる義務または責任も負いません。NSE INDICES LIMITEDは、Nifty50指数とそれに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではなく、その誤り、欠落、障害に対していかなる責任も負わないものとします。NSE INDICES LIMITEDは、Nifty50指数またはそれに含まれるデータの利用により、auアセットマネジメント株式会社、当ファンドの所有者、またはその他のいかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。NSE INDICES LIMITEDは、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行わず、かつNifty50指数またはそれに含まれるデータに関して、商品性または特定の目的または使用に対する適合性のすべての保証を明示的に否認します。上記に関わらず、NSE INDICES LIMITEDは、いかなる直接的、特別の、懲罰的、間接的または結果的損害 (逸失利益を含む) も含めて、本ファンドに起因または関連するあらゆる請求、損害または損失について、たとえそれらの可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。

■運用経過

□基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

□基準価額の主な変動要因

auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、Nifty50指数先物(米ドル建て)の日々の値動きの2倍程度となることを目指した運用を行った結果、当期の基準価額・分配金再投資基準価額は1.4%上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

(2024年5月31日～2025年5月30日)

□投資環境について

＜株式市況＞

Nifty50指数は、期首はインド下院総選挙の結果を巡り、大きく上下する展開となりました。6月中旬から9月にかけては、海外投資家からの資金流入が継続したことや、米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ期待が高まったことなどを背景に上昇しました。10月に入ると、米国金利および米ドル指数の上昇や米国大統領選挙への警戒感などから新興国株式への売り圧力が高まる中、外国人投資家からの資金流出などが要因となり、下落基調で推移しました。11月下旬から12月上旬にかけては、マハラシュトラ州での議会選挙において、与党インド人民党が第1党を、与党連合が過半数を獲得したことにより、投資主導の政策の継続性や政治安定への期待が高まったことなどから、反発上昇しました。2026年に入るとトランプ米国大統領の関税政策への警戒感や、米国株下落に伴うグローバル金融市場の不安定な動きを受けて外国人投資家の売りが再び膨らみ、下落基調で推移しました。4月には、トランプ政権による相互関税の発表を契機とした世界同時株安の影響を受けて同指数も下落しましたが、トランプ関税のインド経済への影響は軽微とみられ下落率は主要国に比べて限定的でした。その後期末にかけては、金融緩和への期待と米中間の貿易紛争を背景とする工場移転の受け皿となることによる景気回復期待を背景に、上昇しました。

□ポートフォリオについて

<当ファンド>

当ファンドの運用方針に基づき、auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、Nifty50指数先物（米ドル建て）の日々の値動きの2倍程度となることを目指した運用を行いました。

<auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド>

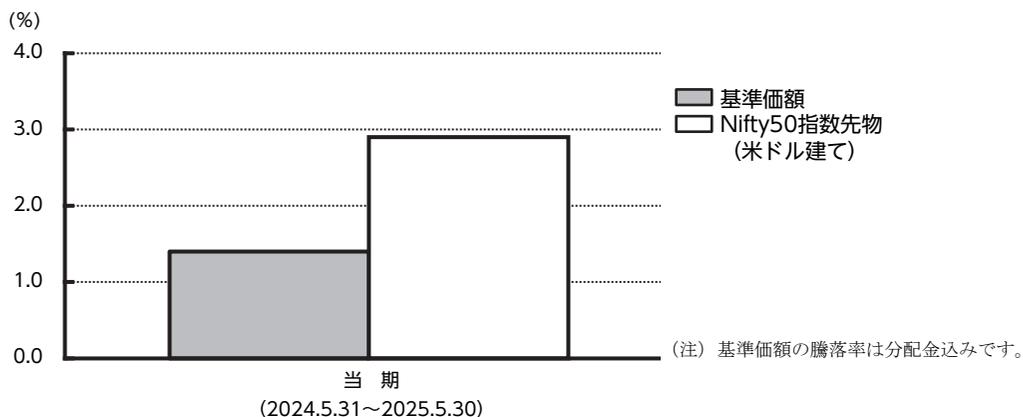
株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、原則として、信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整しました。また、コール・ローン等による運用も行いました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

インドの株価指数先物取引については、Nifty50指数先物（米ドル建て）を利用しました。株式への直接投資は行っておりません。

□ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



□分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

<分配原資の内訳（1万口当り）>

| 項目 | 当期 |
|---------------|-----------------------|
| | 2024年5月31日～2025年5月30日 |
| 当期分配金（税引前）（円） | 0 |
| （対基準価額比率）（％） | (0.00) |
| 当期の収益（円） | — |
| 当期の収益以外（円） | — |
| 翌期繰越分配対象額（円） | 202 |

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

<当ファンド>

当ファンドの運用方針に基づき、auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、日々の基準価額の値動きがNifty50指数先物（米ドル建て）の値動きの2倍程度となることをめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

<auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド>

主として、Nifty50指数先物（米ドル建て）を買い建てます。株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、原則として、信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがNifty50指数先物（米ドル建て）の値動きの2倍程度となることをめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ 1万口当りの費用の明細

| 項目 | 当期 (2024. 5. 31~2025. 5. 30) | | 項目の概要 |
|------------------|---------------------------------|---------|---|
| | 金額 (円) | 比率 (%) | |
| 運用管理費用 (信託報酬) | 45円 | 0.433% | 運用管理費用(信託報酬) = 当期中の平均基準価額 × 信託報酬率 当期中の平均基準価額は10,432円です。 |
| (投信会社) | (24) | (0.233) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価 |
| (販売会社) | (19) | (0.178) | 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受託銀行) | (2) | (0.022) | 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| 売買委託手数料 | 62 | 0.594 | 売買委託手数料 = 当期中の売買委託手数料 / 当期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (先物・オプション) | (62) | (0.594) | |
| 有価証券取引税 | — | — | 有価証券取引税 = 当期中の有価証券取引税 / 当期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| その他費用 | 1 | 0.010 | その他費用 = 当期中のその他費用 / 当期中の平均受益権口数 |
| (監査費用) | (1) | (0.010) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (その他) | (0) | (0.001) | 信託事務の処理等に関するその他の費用 |
| 合計 | 108 | 1.037 | |

(注1) 当期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

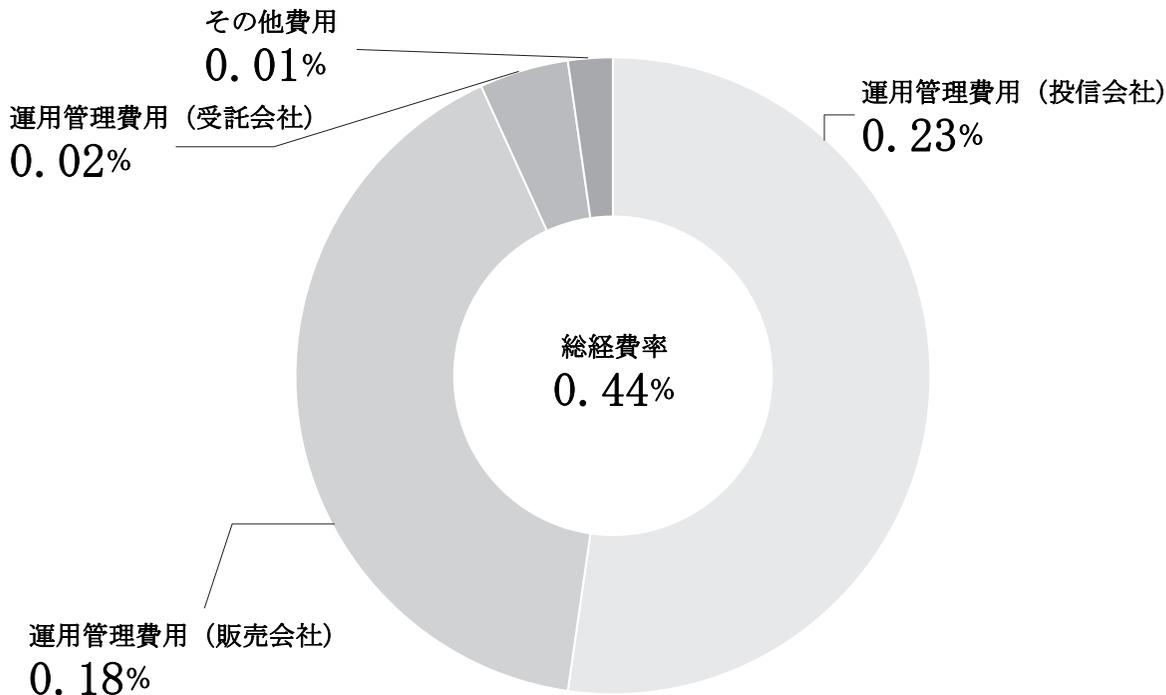
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.44%です。**



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年5月31日から2025年5月30日まで)

| | 設 定 | | 解 約 | |
|-----------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド | 千口 3,542,047 | 千円 3,788,000 | 千口 1,022,592 | 千円 1,019,000 |

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2024年5月31日から2025年5月30日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産明細表

親投資信託残高

| | 当 期 末 | |
|-----------------------------|-----------------|-----------------|
| | 口 数 | 評 価 額 |
| auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド | 千口 2,519,454 | 千円 2,533,563 |

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年5月30日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-----------------------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド | 千円 2,533,563 | % 98.7 |
| コール・ローン等、その他 | 33,499 | 1.3 |
| 投資信託財産総額 | 2,567,062 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、5月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=143.87円です。

(注3) auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産 (△188,627千円) の投資信託財産総額 (2,573,807千円) に対する比率は、△7.3%です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2025年5月30日現在

| 項目 | 当期末 |
|--------------------------------------|----------------|
| (A) 資産 | 2,567,062,115円 |
| コール・ローン等 | 33,499,021 |
| auAMレバレッジNifty50インド株 マザーファンド(評価額) | 2,533,563,094 |
| (B) 負債 | 14,591,270 |
| 未払解約金 | 9,675,954 |
| 未払信託報酬 | 4,805,623 |
| その他未払費用 | 109,693 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 2,552,470,845 |
| 元本 | 2,517,021,049 |
| 次期繰越損益金 | 35,449,796 |
| (D) 受益権総口数 | 2,517,021,049口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 10,141円 |

(注1) 設定日における元本額は89,536,368円、当期中における追加設定元本額は5,431,783,008円、同解約元本額は3,004,298,327円です。

(注2) 当期末の計算口数当りの純資産額は10,141円です。

■損益の状況

当期 自2024年5月31日 至2025年5月30日

| 項目 | 当期 |
|------------------|---------------|
| (A) 配当等収益 | 93,375円 |
| 受取利息 | 93,375 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 34,659,558 |
| 売買益 | 214,708,926 |
| 売買損 | △249,368,484 |
| (C) 信託報酬等 | △ 7,959,304 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 42,525,487 |
| (E) 追加信託差損益金 | 77,975,283 |
| (配当等相当額) | (22,447) |
| (売買損益相当額) | (77,952,836) |
| (F) 合計(D+E) | 35,449,796 |
| 次期繰越損益金(F) | 35,449,796 |
| 追加信託差損益金 | 77,975,283 |
| (配当等相当額) | (△ 1,766,539) |
| (売買損益相当額) | (79,741,822) |
| 繰越損益金 | △ 42,525,487 |

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「分配金の計算過程」をご参照ください。

分配金の計算過程

| 項目 | 当期 |
|------------------------------|-------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 0円 |
| (b) 経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 | 0円 |
| (c) 収益調整金 | 51,020,581円 |
| (d) 分配準備積立金 | 0円 |
| (e) 分配対象額(a+b+c+d) | 51,020,581円 |
| (f) 分配対象額(1万口当たり) | 202.70円 |
| (g) 分配金 | 0円 |
| (h) 分配金(1万口当たり) | 0円 |

■お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の「運用報告書」に関する条文を変更しました。

(変更日 2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

収益分配金のお知らせ

1万口当り分配金

0円

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンド

運用報告書 第1期（決算日 2025年5月30日）

（作成対象期間 2024年5月29日～2025年5月30日）

auAMレバレッジNifty50インド株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

| | |
|--------|--|
| 運用方針 | Nifty50指数先物（米ドル建て）の日々の値動きの2倍程度となることを目指して運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 株価指数先物取引、外国為替予約取引、指数連動有価証券、内外の短期国債 |
| 株式組入制限 | 無制限 |

auアセットマネジメント株式会社

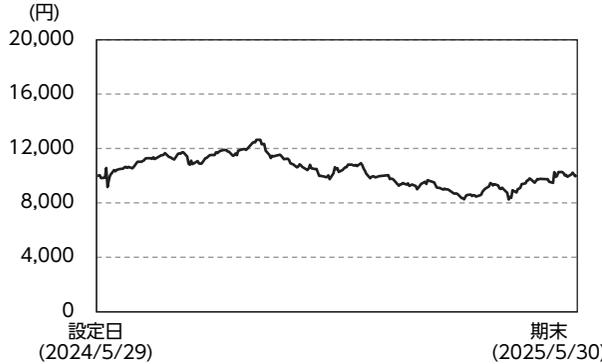
東京都千代田区西神田三丁目2番1号



ホームページ

<https://www.kddi-am.com/>

■当期中の基準価額と市況等の推移



| 年 月 日 | 基準価額 | | Nifty50指数先物 (米ドル建て) | | 株式先物 | 公社債 |
|-----------------|--------|-------|------------------------|------------|-------|--------|
| | 円 | 騰落率 % | 参考指数 | 期 中 騰落率 | 比 率 % | 組入比率 % |
| (設定日)2024年5月29日 | 10,000 | — | 10,000 | — | — | — |
| 5月末 | 9,833 | △ 1.7 | 9,897 | △ 1.0 | 199.4 | — |
| 6月末 | 11,029 | 10.3 | 10,506 | 5.1 | 211.6 | — |
| 7月末 | 11,613 | 16.1 | 10,748 | 7.5 | 206.9 | — |
| 8月末 | 11,812 | 18.1 | 10,836 | 8.4 | 204.8 | — |
| 9月末 | 12,645 | 26.5 | 11,224 | 12.2 | 210.0 | — |
| 10月末 | 10,765 | 7.7 | 10,374 | 3.7 | 204.3 | 32.7 |
| 11月末 | 10,271 | 2.7 | 10,211 | 2.1 | 202.2 | 30.6 |
| 12月末 | 9,966 | △ 0.3 | 10,050 | 0.5 | 201.9 | 31.6 |
| 2025年1月末 | 9,396 | △ 6.0 | 9,788 | △ 2.1 | 199.1 | 34.5 |
| 2月末 | 8,652 | △13.5 | 9,357 | △ 6.4 | 202.4 | 35.1 |
| 3月末 | 9,283 | △ 7.2 | 9,692 | △ 3.1 | 200.0 | 29.9 |
| 4月末 | 9,763 | △ 2.4 | 10,004 | 0.0 | 196.6 | 27.5 |
| (期 末)2025年5月30日 | 10,056 | 0.6 | 10,198 | 2.0 | 199.7 | 27.6 |

- (注1) 騰落率は設定日比です。
- (注2) Nifty50指数先物(米ドル建て)は、Nifty50指数先物(米ドル建て)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000としてauアセットマネジメントが計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

■運用経過

□基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 期末時：10,056円
騰落率：0.6%

【基準価額の変動要因】

株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整し、日々の基準価額の値動きがNifty50指数先物

(米ドル建て)の値動きの2倍程度となることを目指した運用を行った結果、当期の基準価額・分配金再投資基準価額は0.6%上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

□投資環境について

＜株式市況＞

Nifty50指数は、期首はインド下院総選挙の結果を巡り、大きく上下する展開となりました。6月中旬から9月にかけては、海外投資家からの資金流入が継続したことや、米連邦準備制度理事会(FRB)の利下げ期待が高まったことなどを背景に上昇しました。10月に入ると、米国金利および米ドル指数の上昇や米国大統領選挙への警戒感などから新興国株式への売り圧力が高まる中、外国人投資家からの資金流出などが要因となり、下落基調で推移しました。11月下旬から12月上旬にかけては、マハラシュトラ州での議会選挙において、与党インド人民党が第1党を、与党連合が過半数を獲得したことにより、投資主導の政策の継続性や政治安定への期待が高まったことなどから、反発上昇しました。2026年に入るとトランプ米国大統領の関税政策への警戒感や、米国株下落に伴うグローバル金融市場の不安定な動きを受けて外国人投資家の売りが再び膨らみ、下落基調で推移しました。4月には、トランプ政権による相互関税の発表を契機とした世界同時株安の影響を受けて同指数も下落しましたが、トランプ関税のインド経済への影響は軽微とみられ下落率は主要国に比べて限定的でした。その後期末にかけては、金融緩和への期待と米中間の貿易紛争を背景とする工場移転の受け皿となることによる景気回復期待を背景に、上昇しました。

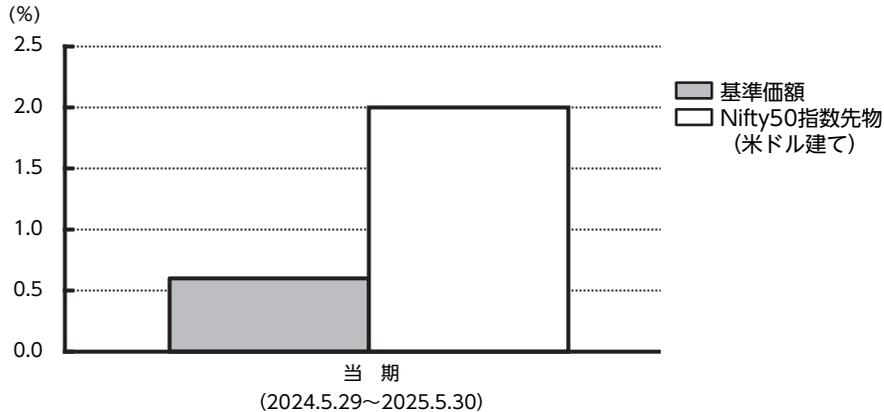
□ポートフォリオについて

株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、原則として、信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整しました。また、コール・ローン等による運用も行いました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

インドの株価指数先物取引については、Nifty50指数先物(米ドル建て)を利用しました。株式への直接投資は行っておりません。

□ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



■今後の運用方針

主として、Nifty50指数先物（米ドル建て）を買い建てます。株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、原則として、信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがNifty50指数先物（米ドル建て）の値動きの2倍程度となることをめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ 1万口当りの費用の明細

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------------|-------------|
| 売買委託手数料 (先物・オプション) | 62円 (62) |
| 有価証券取引税 | — |
| その他費用 (その他) | 0 (0) |
| 合 計 | 62 |

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 公社債

(2024年5月29日から2025年5月30日まで)

| | | 買 付 額 | 売 付 額 |
|----|------|-----------|-----------------|
| 国内 | 国債証券 | 千円 | 千円 |
| | | 1,399,139 | 699,937 (—) |

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2024年5月29日から2025年5月30日まで)

| 種 類 別 | | 買 建 | | 売 建 | |
|-------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | | 新規買付額 | 決 済 額 | 新規売付額 | 決 済 額 |
| 外国 | 株式先物取引 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| | | 56,773 | 51,294 | — | — |

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等

先物取引の銘柄別取引状況・残高状況

(2024年5月29日から2025年5月30日まで)

| 銘柄別 | | | 買 建 | | 売 建 | | 作 成 期 末 評 価 額 | | |
|------|-------------------------|--|--------|--------|-------|-------|---------------|-------|------|
| | | | 新規買付額 | 決 済 額 | 新規売付額 | 決 済 額 | 買 建 額 | 売 建 額 | 評価損益 |
| | | | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 外国株式 | IFSC NIFTY 50 FUT (インド) | | 56,773 | 51,294 | — | — | 5,058 | — | 4 |

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(1) 公社債

(2024年5月29日から2025年5月30日まで)

| 当 期 | | | |
|------------|---------|------------|---------|
| 買 付 | | 売 付 | |
| 銘柄 | 金額 | 銘柄 | 金額 |
| | 千円 | | 千円 |
| 1261国庫短期証券 | 699,730 | 1261国庫短期証券 | 699,937 |
| 1296国庫短期証券 | 699,409 | | |

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の銘柄別取引状況

| 銘柄別 | | 当 期 末 | |
|-----|-------------------|-------|-------|
| | | 買 建 額 | 売 建 額 |
| | | 百万円 | 百万円 |
| 外国 | IFSC NIFTY 50 FUT | 5,058 | — |

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債(種類別)

| 作成期 区分 | 当 期 | | | | 末 | | |
|-----------|----------------------------|----------------------------|---------------------|--------------------|---------------|---------------|---------------------|
| | 額面金額 | 評 価 額 | 組 入 率 | うちBB格 以下組 入率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| 国 債 証 券 | 千円 700,000 (700,000) | 千円 699,794 (699,794) | % 27.6 (27.6) | % — (—) | % — (—) | % — (—) | % 27.6 (27.6) |
| 合 計 | 700,000 (700,000) | 699,794 (699,794) | 27.6 (27.6) | — (—) | — (—) | — (—) | 27.6 (27.6) |

(注1) ()内は非上場債で内書き。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内(邦貨建) 公社債(銘柄別)

| 区 分 | 当 期 | | | | 末 | |
|---------|------------|--------|---------------|---------------|------------|--|
| | 銘 柄 | 年 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 償 還 年 月 日 | |
| 国 債 証 券 | 1296国庫短期証券 | % — | 千円 700,000 | 千円 699,794 | 2025/06/30 | |
| 合 計 | 銘柄数 金 額 | 1銘柄 | 700,000 | 699,794 | | |

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年5月30日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|---------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 公社債 | 千円 699,794 | % 27.2 |
| コール・ローン等、その他 | 1,874,012 | 72.8 |
| 投資信託財産総額 | 2,573,807 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、5月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=143.87円です。

(注3) 当期末における外貨建資産(△188,627千円)の投資信託財産総額(2,573,807千円)に対する比率は、△7.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年5月30日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|---------------------|----------------|
| (A) 資 産 | 5,189,710,864円 |
| コール・ローン等 | 666,234,038 |
| 公社債（評価額） | 699,794,440 |
| 未 収 入 金 | 2,647,864,994 |
| 差入委託証拠金 | 1,175,817,392 |
| (B) 負 債 | 2,656,109,524 |
| 未 払 金 | 2,656,109,524 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A－B) | 2,533,601,340 |
| 元 本 | 2,519,454,151 |
| 次期繰越損益金 | 14,147,189 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 2,519,454,151口 |
| 1万口当たり基準価額 (C/D) | 10,056円 |

(注1) 設定日における元本額は250,000,000円、当期中における追加設定元本額は3,542,047,065円、同解約元本額は1,272,592,914円です。

(注2) 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、auAMレバレッジNifty50インド株ファンド2,519,454,151円です。

(注3) 当期末の計算口数当りの純資産額は10,056円です。

■損益の状況

当期 自2024年5月29日 至2025年5月30日

| 項 目 | 当 期 |
|-------------------------|---------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | △ 13,387,837円 |
| 受 取 利 息 | 4,190,057 |
| そ の 他 収 益 金 | 94,523 |
| 支 払 利 息 | △ 17,672,417 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | △ 26,133,548 |
| 売 買 益 | 77,884,740 |
| 売 買 損 | △104,018,288 |
| (C) 先 物 取 引 等 損 益 | △173,288,635 |
| 取 引 益 | 586,662,300 |
| 取 引 損 | △759,950,935 |
| (D) そ の 他 費 用 | △ 13,640 |
| (E) 当 期 損 益 金 (A+B+C+D) | △212,823,660 |
| (F) 解 約 差 損 益 金 | △ 18,982,086 |
| (G) 追 加 信 託 差 損 益 金 | 245,952,935 |
| (H) 合 計 (E+F+G) | 14,147,189 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (H) | 14,147,189 |

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の「運用報告書」に関する条文を変更しました。

(変更日 2025年4月1日)